

# メニュー紹介を現物展示からディスプレイ表示へ 年間 2,416 kgの生ゴミを削減し、混雑緩和にも効果



## 導入先

### 株式会社エッセンさま

- 富山県黒部市
- 1993年設立。YKKの関係会社で、黒部事業所内の24ヵ所の食堂を運営。YKK社員や来訪客などに、昼食・弁当などを提供されている。



## 導入商品

### インフォメーションディスプレイ PN-T321×16台

- 2011年9月～2012年3月にかけて、YKK黒部事業所内などにある14ヵ所の食堂に順次導入。  
販売：株式会社瀬戸さま

## こんなソリューションを実現しました。

### 導入前の課題

当社が委託を受けている14ヵ所の食堂では、毎日ランチの現物サンプルをショーケースに展示していました。衛生上、展示後は廃棄するため、年間総廃棄量は2,416kgに上っており、経費削減とCSR向上の観点からこうした問題を解決したいと考えていました。

献立をディスプレイに表示することで、年間2,416kgの生ゴミ(食材・調理費は480万円相当と試算)を削減。経費削減とCSR向上に繋がりました。

ディスプレイなら、離れた所からでも複数の人が同時にメニューを見ることができるため、食堂の混雑緩和にも効果を発揮しています。



株式会社エッセン  
部長 宮成 智さま

油木智美さま

### ■ 導入の背景

現物展示後の生ゴミ廃棄をなくし、CSR向上と経費削減を図りたい。

当社で委託を受けているYKKの社員食堂のうち、14ヵ所については日替わりのランチを現物展示し、お客さまに選んでいただいていた。長時間展示するため、衛生上、サンプルの食材は毎日廃棄していました。1食分とはいえ、食堂14ヵ所の食材は相当な量で、年間総廃棄量は2,416kgにも達し、当社のCSR向上と経費削減を図るべく、こうした課題を解決したいと考えていました。

### ■ 選ばれた理由

混雑する食堂にコンパクトなデザインがぴったり。USBメモリーで更新できる手軽さも決め手。

解決策を模索する中、ある食堂ではディスプレイを使ってメニュー表示をしていることを知り、導入の検討を始めました。機種選定にあたっては、シャープ製液晶ディスプレイのブランド力の高さと、毎日の作業となるため、USBメモリーを使って現場の担当者が簡単に更新作業ができる点が決め手になりました。またサイズについては、昼食時は食堂が混雑するため、場所を取らずコンパクトな32V型を採用することに決めました。

### ■ 導入後の効果

年間 2,416kgの生ゴミ廃棄量を削減。食堂の混雑緩和にも効果を上げています。

導入後は、年間2,416kgの生ゴミ廃棄量を削減できた上、食材・調理費も約480万円(試算)削減できました。またサンプルはショーケースに並べていたため、大勢の人が覗き込むと見えにくいといった課題もありましたが、ディスプレイなら一度にたくさんの方の目に入り、混雑が解消されました。毎朝、事務所から各食堂のパソコンに当日の献立画像を配信し、各担当者がUSBメモリーにダウンロード更新を行っています。これまで何種類ものお皿を運んで並べていた作業負担がなくなり、USBメモリー1本で簡単になったと好評です。

### ■ 今後の展望

月に一度の特別メニューもスライドショーで表示。他の食堂への追加導入も検討。

現在は当日の献立のみを静止画で表示していますが、スライドショーや音声機能も有効に活用し、毎週水曜のヘルシーメニューや月1回のご当地ラーメンなど特別メニューを紹介したいと考えています。さらに、他の食堂への追加導入も検討しています。



離れた所からも見やすく、食堂の混雑緩和に一役



「明るい画面でおいしく見える」と好評



USBメモリーで手軽にコンテンツを更新できる点も導入のポイント